

リレー連載 生ヒストリー温故知新
第1回 馬場武彦さん (54期)

◆偉大な会長と

幹事長を引き受けたのは、同郷で平素からお付き合いのあった前幹事長の山崎さん(48期)に口説かれてやむを得ず、と一言うしかなかったと思ひ返す。

当時の関東同窓会は仲良しグループの集まりのようなもので、最初に会長と幹事長を決めれば会計長副幹事長他委員などは普段懇意にしている方々をお願いしていたので、今の体制から見ると、天と地の差がある。

色々困惑している私に横山会長(42期)は、「好きなようにやれば良い、何かあったら俺が責任をとるから」と言われ肩の荷が軽くなった。小柄な会長さんだったが、気持ちは大きく、寛大なところもある大人物であった。こんな会長さんに仕えられて幸せだった。

◆会報は幹事長が

会報編集長を選任するに当たって山崎前幹事長に相談したところ、「君、会報なんてね、記事と広告を集めて料理すりゃ出来るよ」と言われ、ああそうですか、と承知してしまったのがいけなかった。上田松尾在校時に新聞班に所属し、上田商店街を走り回って広告を集めた経験もあり、ああすれば出来るな、と安易に考えたのがいけなかった。いざ会報作りに着手して難題山積、困りかねて後輩で現役新聞記者をやっている人に助けていただいたりで何とか3年間のお役目は果たせたかと思ひ出す。

◆総会を思い出して

当時は市内の僚友校や、なぜか野沢南高の役員方を総会にご招待したりされたりが暫く続いていた。

動員数を増やす魅力は何かを考えたところ、福引をしたらどうかと言う案が出され実行されることになった。さて、ではその景品はどうやって調達するかが問題になったが、さすが関東同窓会の会員、宝石商を営まれている方や実家が味噌醸造や酒造業の方々からの色々な品々が提供され、おかげで賑やかな総会のひと時が持てた。

◆宛名名簿整理

横山体制下ではワープロ利用が精々だったが、次期幹事長を引き継いでいただいた堀内さん(53期)からはパソコンの時代となり、現役だった身でありながら帰宅されてから僅かな時間のみでは入力に打ちこまれたとお聞きしており、ご努力に感謝。

◆現体制を誇りに

私が幹事長を担当した3年間を振り返り、まさに「穴があったら入りたい」気持ちでいっぱいだ。現在は各担当もしっかり責任範囲を全うし、会報などは今や24頁に及ぶ立派なものになり、私が作ったタブロイド版4頁はお恥ずかしい限りだ。

時代は色々に推移するが、現在の素晴らしい体制が発展的に維持されることを願っている。

上田高等学校関東同窓会バンザーイ！



馬場さん（左）。樹下さん（中央）、浅野井さん（右）
と平成22年4月の幹事懇親会にて。